

# 川崎大師に 北の湖の銅像

高岡・竹中銅器が製作

竹中銅器（高岡市）は、第55代横綱で2015年11月に死去した日本相撲協会の前理事長北の湖（本名小畑敏満）さんの銅像を製作した。川崎市の川崎大師で1日、除幕式が行われ、妻とみ子さんや角界関係者らが完成を祝った。

銅像は北の湖さんの三回忌法要に合わせて造られた。紋付きはかまを着て土



俵の上に立つ姿で、高さ約2.5メートル、幅約1.5メートル。原型は日本芸術院会員の山本眞輔氏が手掛け、合同会社立川（高岡市）が着色を担当。写真を基に作られた銅像は鋭い顔つきで、北の湖さんの威厳が伝わる仕上がりとなった。とみ子さんの希望ではかまは黒色とし、土俵部分には家族の手形が入っている。

銅像は川崎大師内の参道脇に設置され、一般の参拝客も見ることができると見られる。除幕式には日本相撲協会の八角理事長（元横綱北勝海）、貴乃花親方（元横綱）、山響親方（元幕内巖雄）、横綱日馬富士らが出席した。

境内で行われた除幕式

川崎市の川崎大師（竹中銅器提供）